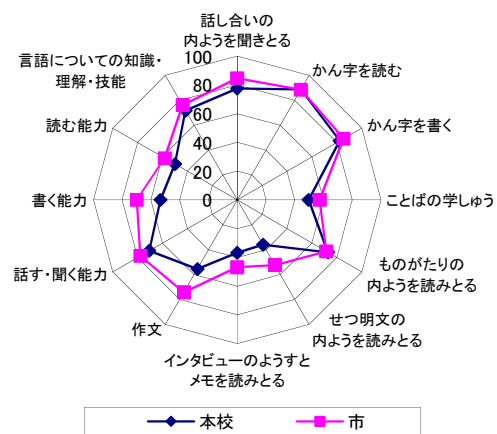


宇都宮市立西が岡小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	77.6	84.6
	かん字を読む	88.7	88.6
	かん字を書く	82.2	85.4
	ことばの学しゅう	49.6	57.3
	ものがたりの内ようを読みとる	72.9	71.5
	せつ明文の内ようを読みとる	35.9	52.5
	インタビューのようすとメモを読みとる	36.7	46.8
	作文	55.5	74.2
観点別	話す・聞く能力	70.8	77.8
	書く能力	53.4	69.9
	読む能力	50.0	58.2
	言語についての知識・理解・技能	71.9	76.0



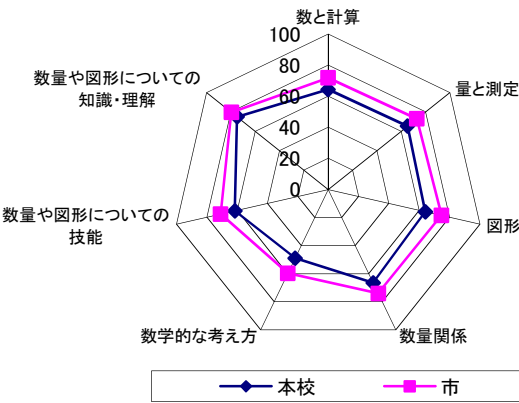
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	平均正答率は、市の平均を7%下回っていた。話し合いの内容に気を付け、大事なことを聞き逃さないように聞き取る力や、話題に沿った意見と理由を考えて話す力の理解が不十分であった。	話す・聞く態度は、国語科や会話科などから育ててきている。しかし、今後は相手の言いたいことを正確に聞き取ったり、相手に正しく伝えるためにどう話したりしたらよいかなどを繰り返し指導していきたい。自分の意見をまとめるため、話を聞きながら大切なことを落とさないようにメモをする、気付いたことを付け加えるなどの基本的な習慣を身につけさせていきたい。
かん字	漢字を読むことに関しては、市の正答率をやや上回っていた。第3学年の漢字については、市の正答率のほぼ平均～5%上回る結果だったが、第2学年の漢字については、市の正答率を1～3%下回る結果となった。 漢字を書くことに関しては、市の正答率をやや下回っていた。特に、「走る」という漢字が市の正答率から14%下回る正答率であった。	中学年は、新出漢字が増加する時期でもある。書き順・熟語など定着するまでは、繰り返し練習する必要がある。宿題だけでなく、平日は自主学習、休日は平日に学習した内容の復習をすることの必要性を指導するとともに、連絡帳でも既習の漢字はできるだけ使って書くよう指導していきたい。 また、第2学年までの漢字も忘れないよう教科書を活用していきたい。
ことばの学しゅう	平均正答率は、市の平均を8%下回っていた。「ローマ字」や「漢字の部首」等、全体的に理解が不十分であったが、特に「国語辞典の使い方」に関する理解が市の正答率の18%と大きく下回る結果であった。	ローマ字学習は、ひらがな学習と同様何度も繰り返して練習させたい。ローマ字は身近に目にするものであると同時に、パソコン入力の際にも大いに役立つことを実感させながら、会話科や総合的な学習の時間を通して読み書きの機会を増やしていきたい。国語辞典の学習では、常に教室内に置き、国語の授業を中心に調べ学習や、グループ活動に取り入れて学び合うことで定着を目指したい。
ものがたりの内ようを読みとる	物語の内容の読み取りに関しては、市の平均を少し上回っていた。特に、「登場人物の気持ちを読み取ることができる」について1～5%市の平均正答率を上回る結果であった。	朝の読書の時間の拡充や、読み聞かせを通して、物語に触れる機会が増えているため、今後も読書の時間を十分にとるよう声をかけていきたい。 読み取りに関しては、登場人物の行動や会話から、それぞれの登場人物同士の関係や役割を考えさせたり、書かせたりしていきたい。また、苦手な児童に関しては、友人との話し合いの中から、自分の考えに近い意見を参考させていきたい。
せつ明文の内ようを読みとる	説明文の内容の読み取りに関しては、市の平均を大きく下回っていた。「目的や必要に応じて、文章の内容を読み取ること」について、市の平均正答率から20%も下回る結果であった。	文章全体を形式段落に分け、段落ごとに重要な言葉を見付けたり、要点をまとめたりする練習を繰り返させていきたい。指示語や接続語、文末表現に注意して読み取るよう指導していきたい。段落に小見出しをつけたり、段落同士の関係を読み取ったりして、内容を正しく読み取る力を付けさせたい。 さらに、毎日音読することで説明文の文章構成に慣れさせていきたい。
インタビューのようすとメモを読みとる	インタビューの様子とメモを読み取ることに限しては、市の平均正答率を下回っていた。特に「読み取った情報の共通点や相違点をとらえて整理すること」について、市の平均正答率から13%下回る結果であった。	インタビューの内容をそのまま受け取るだけでなく、受け取った情報の共通点、相違点は何かを考えながら、取り組ませたい。そのために、まずインタビューやメモから読み取る機会を増やし、熟語や言葉が何を表しているのか相関関係を考えさせることで力を付けていきたい。
作文	作文に関しては、市の平均正答率を大きく下回っていた。「2段落構成で文章を書くこと」については、市の平均を20%も上回っており、段落構成への意識の高さがうかがえた。一方で、「指定された長さで書くこと」「経験・想像したことの中から文章を書くこと」「自分の考えが明確になるように、必要な事柄や理由を書くこと」については、20%ずつ下回った。	国語の授業では、段落構成等の形式に注意して書くことを繰り返し指導することで、力がついてきている。一方で、「自分の経験を根拠に理由付けて書くこと」の力が不十分であるため、根拠や理由を付けて説明する力を伸ばしたい。 さらに、長期休暇の宿題や日頃の自主学習で作文を書く機会を拡充することにより、書く力を伸ばしていきたい。

宇都宮市立西が岡小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	64.3	71.8
	量と測定	65.3	72.8
	図形	64.1	74.7
	数量関係	66.6	74.1
観点別	数学的な考え方	49.0	59.7
	数量や図形についての技能	61.6	70.9
	数量や図形についての知識・理解	74.8	79.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は市の平均を下回っている。特に4けた÷4けた＝4けた(波及的繰り下がりあり)の計算の正答率が低く50.0%であった。分数で大きさを表す問題は、市の平均を上回り95.3%であった。文章問題を解くための立式は、除法62.5%乗法68.8%と正答率が低かった。	計算プリントなどで、何度も何度も正確に速く計算できるように習熟を図っていく。特に繰り下がりのあるひき算と余りのあるわり算の習熟を図りたい。また、立式の苦手な児童には、文章題のキーワードに線を引かせるなどしてじっくりと取り組ませていきたい。
量と測定	平均正答率は市の平均を下回っていた。身近にあるものの重さを整理して適切な単位を選ぶことはできても、はかりを使って重さを読み取ることは理解が低い。ある時刻から一定時間前の時刻を求めることも理解が不十分であった。	時刻の問題では、もう一度時刻や時間の概念を理解させていきたい。また、学校生活の場面で、2つの時刻を比較して間の時間を求めるなど具体的に考えさせる機会を多くし指導していきたい。 重さの学習については、はかりの読み方や使い方について理解が不十分であるので実際にはかりを使うなどしてもう一度復習させ理解させていきたい。
図形	平均正答率は市の平均を下回っていた。直方体の長さの等しい辺の数の理解は75.0%で、市の平均82.8%に近いが、直方体を作るときに必要な面の形と数の理解は53.1%と低い正答率であった。	直方体の理解が不十分であったので、再度「はこの形」について復習させる機会を設けたい。また、具体物を使って、直方体の面や辺について確認させたい。
数量関係	平均正答率は市の平均を下回っていた。特に「□を使った式」についての正答率は、市の平均正答率も50.1%と低い、本校は34%とさらに低い結果となっている。棒グラフの読み取りに関しては、正答率が92.2%と高く、市の平均正答率に近い結果であった。	問題文を読むときには、わかっていること・求めることなどを正確に読み取るため、アンダーラインを引いたり、キーワードに印をつけたりしながら読む習慣をつけさせたい。また、分かったことを図にかいたり、線分図に表わしたりして正確に立式できるようにさせていきたい。